

昭和三十二年度 加治木町教育方針 教頭長市来 朴

(その一)
健康教育の振興
すべての基礎が人間の健康にあることは言を俵たないで、随つて学校教育の中に健康教育が占める位置は大きい。
学校の体育指導が終戦後実に乱れて機械体操は勿論、徒手体操まで、其の系統は破れて、体操の時間は遊びと同じく、唯ボールが与えられて全く放任の状態であった。現今稍々立直つたが、未だ指導に系統がなく、心理的発達、身体的発達の段階的研究が乏しく、場当たり式の遊び半分が残り、生徒自身にも、自己の体位向上への建設意欲や、体育への認識が不十分である。従つて教師は平常自らの体位向上に留意すると共に、子供の指導に当つては、常に生徒の身心の発展段階を研究し、担任生徒の体位の動向を把握して、段階的指導の十全を計らねばならぬ。

D 社会教育の振興
学校に於ては、唯単なる社会教育でなく、どこまでも、子供を中心とした、子供の幸福を念願した社会教育、即ち子供に教育を十全ならしめる為の、環境の充実に努むるべきである。努力もな

見得を張つたり、見せる為に形式を粉飾したり、其場当りの、場当たり主義は最も慎まねばならぬ。花咲翁が枯木に花を咲かせたのは、其の場当りの偶然ではない。恰も殿様の眼前でパツと奇術師の眼に映かされたように思われなければならない。これはあの翁さんの善腕に咲いた花であり、平常の性根の光であり、人格の火花である。

あつたのだ。悪いお爺さん、自己の悪徳は忘れん、眼前に眩惑され、その外観だけを見て、まねたからこそ失敗したのである。加治木町の教育は加治木本米のヨサを知り、加治木町の教育の短所を探つて、加治木町の教育者であるという、自覚と、何ものにも動じない毅然たる態度で、日々の教育に鋭意精進されよう望む。

七月・八月の 円芸農事について



が予想されますので今後の円芸作の手入れ等について簡単に述べます。
なお、詳細については技術員の直接指導をうけて下さい。

一、果菜類について
現在までに、ナス、トマト、南瓜、西瓜、ウリ、

発生するのでテツブ、マロン乳剤(〇〇〇)一、五〇〇倍液散布、ウリバエの発生もあるのでDDE乳剤(〇〇〇)一、五〇〇倍液散布、四倍液、特に幼虫に根につくので注意されたい。
抑制キウリを播種するときは、四葉、平和、立秋宮の陳、長日落合、霜月地這等品種はあつたが市場の嗜好に合う品種を選ばせたい。
夏まきかんらの播種が八月月中旬ごろ……品種は野崎夏まき、間宮交配四季などを用いる。
はな野菜の播種も七月下旬……品種はアーリースノーボール、野崎早生がよい、播種については完全堆肥二、三、過五〇〇、硫酸巴豆、木灰一升を坪当たり散布してよくならす。坪当たり五斗播種から結球白菜が八月下旬から播種になるが、これについては後日詳細に述べますのでほ場を充分耕起して石灰及び石灰窒素の散布をして、その態勢を整えておくこと。
三、根菜類について
美濃早生大根がすでに播種されているが、これも

らんも梅雨明けに最後の追肥をなし、シキワラで乾燥防止をなすこと。
なお、梅雨明け後すぐ山東菜、花芯白菜等の播種をして間引きを出荷することもしよと思はれる。
ホーレン草栽培はよいが幾分技術的にむづかしいので技術員の指導の上で実施する。
夏まきかんらの播種が八月月中旬ごろ……品種は野崎夏まき、間宮交配四季などを用いる。
はな野菜の播種も七月下旬……品種はアーリースノーボール、野崎早生がよい、播種については完全堆肥二、三、過五〇〇、硫酸巴豆、木灰一升を坪当たり散布してよくならす。坪当たり五斗播種から結球白菜が八月下旬から播種になるが、これについては後日詳細に述べますのでほ場を充分耕起して石灰及び石灰窒素の散布をして、その態勢を整えておくこと。
三、根菜類について
美濃早生大根がすでに播種されているが、これも

パラチオン剤は特定毒物

農家の皆さん！
本町病害虫駆除の時期となりました。今年も二化めい虫、三化めい虫の駆除にパラチオン剤(ホリドールパラチオン)を使用されると思いますが、葉巻防止のため、防除実施の手続、公示、取扱等について要点を列記し、農薬による危害が起らない様、農家皆様の理解と協力を望むものであります。

個人の所持、使用は厳禁、
防除三日前に届出しなければ

使用出来ない
右にのべたとおり、指定定証と印鑑を忘れないこと。
(一)指導員との連絡
届出の場合指導員が立会しなれば絶対撤布が出来ないので、次にか、ける指導員と、実施の場所とか日時等をよく打合せ、了解を得て届出ること。
本年度県知事から指定された有機燐製剤指導員は次のとおり。
脇田 郁穂(役場)
穂満 芳徳(〇〇)
岩崎 貞光(農協)
松水 嘉記(〇〇)
松岡登記夫(普事)
岩山 隆憲(〇〇)
川崎 實(共済)
松園久志(〇〇)
小野 竜馬(岩原)
松物 実(〇〇)

●届出と公示
1、届出(届出地域(部落)の防除責任者(使用者)指定をうけた者)は経済課に印鑑(使用者指定証の人の分)と指定証を持参し、町長より防除実施届受理証を受けて購入する。
●届出の場合……
(一)実施する三日前に必ず届出ること。

●使用できる者
パラチオン剤は、一般個人の所持、使用は固く禁じられてをり防除する時も農協、共済、知事の指定した部落振興会等の共同防除でなければ絶対出来ないことになつてをりま。パラチオン剤使用者として指定され、製剤を譲受、所持、使用で

●防除区域の標識
(赤はたは必ず……)防除水田の一筆毎に、地上二メートルの竿に赤色の布(長さ三〇センチ、巾一五センチ)を中央に一本立て立入禁止の標識とする。七日後には必ず取りはずすこと。

●薬の後始末
残液等は、終了と同時に防除責任者がカギのかかる箱に厳重に保管します。七割の農家が有畜農家になるやうであります。一戸で二頭以上飼育している農家も少なくありませんので、実質的に飼育を保持して、養豚や養鶏の熱が上昇してはあります。最近の飼育は、約五〇%位に過ぎず、後の五〇%位の農家は、

●経営の改善に先づ
畜産を考へよ!!
農業の後進と云われ農家の多いので、畜力農具の導入をはげむ、又作式改善がなされたい。農の普及と畜産の振興に、逐次前進の方向にあることは同様に堪えない処であります。
加治木町の畜産の現状を分析して見ると、役牛一、二五頭、役馬五二頭、乳牛一〇頭であり、五頭、乳牛一〇頭であり、農家戸数で、算術的に申しますと、七割の農家がある畜農家になるやうであります。一戸で二頭以上飼育している農家も少なくありませんので、実質的に飼育を保持して、養豚や養鶏の熱が上昇してはあります。最近の飼育は、約五〇%位に過ぎず、後の五〇%位の農家は、

●町民の皆さん
暑中お見舞い
申し上げます
(役場職員一同)

●公示
病害虫防除のため左記によりパラチオン剤を使用するので公示する。
一、実施日時 〇月〇日 〇時から〇時迄
一、実施区域 〇〇〇〇
一、赤はたに充分注意すること。
昭和32年〇月〇日
防除責任者 〇〇〇〇 振興会長

●指導員の立会
撤布する場合は、指導員立会のもとに、適切な指導監督をうけて、事故のおこらぬ様にす。事(指導員がいなければ絶対撤布は出来ない)のでこの点固く守ること。

●考える農業への転換(四)
加治木地区農業改良普及所長 松岡 登記夫
早く水陸稲の栽培が本町の防犯官の一環として広く普及された今日、畜産も又台風災害の少ないものであり防犯の役割も大きい。
早期作の、跡作の蔬菜や、飼料作物や、畑作物の甘藷や、莖を利用したり、又上場地帯の結球白菜と豚や鶏と結びつけた畜産こそ本町の宿題であると思う。
反面家畜は多量の糞尿を生産するので、それを田畑に還元して地力の維持増進を図り、安定した稲作と災害の少ない畜産を経営の根幹として、種々の横糸となる作目を織り込んでこそもうかる経営の糸口でもありましよう。(以下次号)

●職を求めらる人へ
明らにお知らせ
鹿兒島県労働連絡事務所に設置されまして、その土地の求人情報を送つて来る様になりました。職を求めらる方は、安定所分室に出頭されて、この情報を検討され、又進んで希望を申し出されまうと現地と連絡をとつてお世話することになつて居ります。
なお、就職後に於ても責任をもつて面倒を見ることになつて居りますので、今迄にこの経路で就職した人から、大変喜ばれて居ります。
安定所加治木分室は、役場北隣にありまう。